

# 進路だより

令和2年度 3月 3日  
大牟田特別支援学校 キャリア教育・進路指導部  
(小学部・中学部・高等部)

3月に入り、卒業式まで、残すところわずかとなりました。高等部では、3年生はいよいよ卒業後の就労に向けて、最終的な調整時期に入りました。

本校では、A型・B型等の福祉的就労や生活介護、就労移行支援の利用を予定されている方については、事業所・相談支援担当者に学校にきていただき、本人・保護者・担任同席のもと最終的な確認を行う「移行支援会議」を実施しています。「移行支援会議」では、サービス等利用計画を全員で共有し、卒業後の事業所利用に向けて具体的な内容を確認するとともに、学校での様子や配慮事項などの引継ぎを行っています。また、一般企業に就職される方については、障害者就労・生活支援センター「ほっとかん」に現場実習の段階から支援に入っただき、就職後に切れ目なく支援が行われるようにしています。

子どもたちにとって、人生の節目となる18歳の春、みんなが大きな希望をもって、スムーズに新しい生活に入っていけることを願っています。



## お金のはなし

卒業後、長い人生において生活を支える収入は、大きく分けて、賃金（工賃・給料）と障害基礎年金の2つです。

### ①賃金

**就労継続支援A型事業所** 雇用契約を結びます。勤務時間は4時間のところが多く、社会保険や厚生年金には加入しないケースがほとんどです。最低賃金が支払われます。福岡県の場合、最低賃金は842円ですが、熊本県では793円です。月6～7万円程度の収入となります。

**就労継続支援B型事業所** 雇用契約を結ばず、工賃を受け取ります。福岡県平均は13,841円（平成30年）ですが、事業所によって異なります（県のホームページに事業所ごとの平均工賃が情報公開されています） ※A・B型などの福祉的就労の場合、世帯収入によっては利用料がかかります。

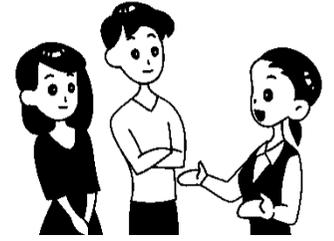
**一般企業** 会社によって異なります。パートタイムの場合とフルタイムの場合でも変わります。フルタイムであれば、社会保険・厚生年金に加入し、手取り10～12万円程度となります。パートタイムの場合は、社会保険や厚生年金には加入せず、月6～7万円程度の収入となることが多いです。現在ハローワークに出ている障害者求人の多くはパートタイムです。

**②障害基礎年金** 20歳になってから受給できます。書類による審査により、受給の有無・等級が決定されます。1級の場合、月額81,427円。2級の場合は、月額65,141円です。審査がありますが、一般企業等で就労していても申請できます。

なお、日常生活において常時特別の介護を必要とすると認められる場合には、年金とは別に「特別障害者手当」を申請することができます。（月26,000円程度）

## 卒業生の保護者へインタビュー

(A型事業所「リード倉永」で就労  
・グループホーム「リード吉野」に入居)



Q1. 卒業後グループホームに入居されたのは、どうしてですか？

A1. 就労先の事業所の方から「若い時に一度親元を離れる経験をされるといいですよ」とすすめられたことと、本人に「いずれは親元を離れて一人暮らしをしたい。自立したい。」という夢があり、その足がかりとするため、本人が決断しました。親としては、将来、親亡き後に一人で暮らしていけるようになればいいなという思いもあり、本人の意思を尊重しました。

Q2. 卒業して1年が経とうとしています。子どもさんの様子はどうですか？

A2. 仕事に関しては、楽しく頑張っているようです。生活面では、ホームシックになっていた時期もあったようですが、洗濯・掃除・買い物など、できることが増えたことに成長を感じています。スタッフの方が、個室の中の様子を毎日確認して一緒に掃除をしてくださったり、家賃・光熱費の振込と一緒に郵便局に行ってくださったり、様々な支援があるおかげだと感謝しています。自分の毎月のお給料で生活できて、お金の大切さがわかるようになったこともよかったと感じています。

Q3. これから進路先を決めていく皆さんに一言お願いします。

A3. 学校は、子どもが過ごしやすいように環境を整えてくれると思いますが、少し厳しい環境に身を置くこともよいのではと、最近は思うようになりました。そうすることで、本人の可能性が広がるように思います。現実を知り、現実を受け入れて頑張る、そういう経験を通して子どもが大きく成長していくことを感じています。

## グループホームって？

グループホーム（共同生活援助）は、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスのひとつで、障害をお持ちの方が少人数で共同生活を行う住まいです。建物内には、利用者の個室のほか、交流室、食堂、浴室等が設置されており、共同生活を通して他者との接し方を学びながら日常生活を送ることができます。一軒家で共同生活を行うシェアハウス型のほかにも、アパート等の個室で生活を行うアパート型もあります。アパート型になると、より一人暮らしに近い形になります。また、生活介護事業所と連携して、日中活動も含めて24時間で介護支援を受けられるグループホームや、日中は一般企業等で就労することを前提としたグループホームなど、様々なグループホームがあります。費用は、大牟田市から1万円の家賃補助があり、食事代・光熱費等含めて自己負担額は月6万円程度です。



